

新型コロナウイルス感染症対策下における子ども虐待防止に資する  
助成事業報告書(HP掲載用)

団体名	特定非営利活動法人 日本タッチ・コミュニケーション協会
事業名	みんな笑顔 心のふれあいオンラインセミナー
活動期間	2020年6月4日～2020年12月24日

実施内容	<p>初めての育児に戸惑う等の育児ストレス・育児疲労、そして経産婦であっても兄弟の関わり方等、戸惑うことも多い産後の女性のために、当法人は、産婦人科等で「タッチ子育て支援プログラム」を活用した育児支援セミナーをこれまで 20 年間、定期的で開催してきた。本プログラムは産婦人科医、内科医らと研究を重ね、育児不安、育児ストレス軽減効果が検証されている。</p> <p>しかし、昨年の緊急事態宣言以降、長引くコロナ禍において児童虐待が急増しているにも関わらず、私たちの活動も感染拡大防止の観点から、産婦人科での対面セミナーが中止となった。また、公共施設でも対面セミナーの開催は困難を極め(公共施設の休館等)大変神経を遣い、定員を 1/3 に下げているため、育児中の母親たちから、ステイホームで孤立化し、ストレスを抱えやすい状況であるとの報告が相次いだ。つまり心の栄養と言われるストローク不足(ストローク=人との交流)に陥ると、ストレス状態、産後鬱などのメンタル不調に繋がりがやすく、さらには虐待リスクも高まる。</p> <p>そのため、当法人はこれまで産婦人科や地域の公共施設で開催してきた乳幼児虐待予防プログラム(以下の 3 つのセミナーとグループカウンセリング)を、全てオンラインで開催できるよう基盤整備[ビデオカメラ等機材の購入/オンラインセミナーのためのソフト導入他 HP 整備/告知用動画作成等]し、オンラインで開催することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オンラインでのベビーマッサージセミナーの開催</li> <li>2. オンラインでのヨーガ/セラピーの開催</li> <li>3. オンラインでの子育ての心理学の開催</li> </ol> <p>さらに、オンラインでのグループカウンセリングを開催し、ファシリテーターを中心に何でも話せる母親達の交流の場づくりを行なった。</p>
成果	<p>オンライン化するために、不慣れなことも多く、アシスタントのスキルを上げるなど、これまで経験したことのない技術を要したが、これまで地域貢献で展開してきた活動が、県外(島根、東京、神奈川、千葉、群馬、青森、北海道)からの参加者も動員できた。タッチ子育て支援プログラムが全国に向けて門戸が開かれたことは、本事業の大きな成果である。本事業は、長年提供してきた支援プログラムをオンライン化し、外出を控え、ストレスを感じている県内外の親の心に「安心の場づくり」のサポートを行ない、以下の通り、受益者の心のケアに貢献できた。</p> <p>6月、7月のオンラインセミナーにおいて、のべ 141 名の受益者の参加があった。その中から、無作為に 30 名の方にオンラインセミナーについてのアンケートを送付したところ、23 名から返信があり、39%が広島市内、44%が広島県内、17%が広島県外からの参加であった。オンラインセミナーに対する満足度は、83%の方がとても良い、良いと好反応であった。</p> <p>また、受益者から主体的に感想、報告も送られてきた。その内容を要約すると、セミナーやグループカウンセリングで、人との関わりが少なく(ストローク不足)子どもと 2 人で過ごす時間が長く、ストレスを感じていたが、気分転換ができた。ストレスが改善された。心にゆとりができた。講師や他の参加者の話が聞けて、育児、子育てに限らず色々な気づきを得られた。等であった。</p> <p>コロナ禍での孤立化⇒親のストローク不足(ふれあい不足)ストレス状態⇒子どもとのふれあい不足(子どものストローク不足)⇒体罰やネグレクトなどの児童虐待に至るという構図を、本事業において予防することに貢献できたと考えている。</p>
写真	

リンク	<a href="https://npojatc.net/">https://npojatc.net/</a>
-----	---